



「いつも」と「もしも」のために、BCP(事業活動継続計画)の備えを。
無線システムとポータブル電源のご提案。

JVCKENWOOD

防災・減災対策ソリューション
ご提案

無線システム

自営の連絡手段を確保。職員連絡ツールの普段使いとして、無線システムの活用をご提案します。

『避難しながら』という想定で、放送設備と離れた場所から移動型無線機で放送。
放送連動無線システムをご提案します。



いつもは

施設内の警備連絡や職員間の連絡用に、デジタル簡易無線機を活用。

もしもの際は

移動型無線機から放送設備を起動し、マイクの代わりとなり放送できます。



KENWOOD無線機とJVC放送設備を製造販売する、当社ならではの提案です。

『電気や通信網が使えない』という想定で、職員間の連絡手段を普段から確保。
特定小電力トランシーバーをご提案します。



いつもは

屋外活動や職員間の連絡用に、特定小電力トランシーバーを活用。

もしもの際は

避難所などでの自営連絡手段として活用。乾電池での使用も可能です。



交信距離の目安は、建物が林立する市街地:100m~200m、見通しの良い郊外:1km~2kmです。

ポータブル電源

ビジネスをスマートに。防災用品の普段使いとして、ポータブル電源の活用をご提案します。

『電気が使えない』という想定で、身の回りの最低限必要な電源を確保。
ポータブル電源をご提案します。



いつもは

職場やテレワークに。屋外活動やコンセントの無い場所での作業で活用。

もしもの際は

安全確保や通信手段確保のために、LEDライトやスマートフォンの給電に活用できます。



ソーラーパネルと組み合わせることで、ポータブル電源の充電と給電の両方を確保できます。



社会の安心・安全は「いつも」と「もしも」の備えから。
「防災・減災」のための音響・映像・無線システムをご提案します。

●記載されている会社名、製品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。●仕様および外観は、予告なく変更することがあります。●画面はイメージ合成です。

株式会社 JVCケンウッド・公共産業システム <https://jkpi.jvckenwood.com/>

K/SEA4110645 Z 2024年11月 作成

プロダクトデザイン部 マーケティンググループ

〒108-0075 東京都港区港南 4-1-8 リバージュ品川 TEL : 03-6311-4709

a JVCKENWOOD Company

さまざまな自然災害への備えに、 JVCケンウッドが先進のソリューションでお応えいたします。

音響システム

防災・減災に向けた音響システムで、社会の安心・安全に寄与する放送設備、コミュニケーション製品を提供します。

『災害対策本部を設置』という想定で、会議システムが「情報の収集・共有・分析・発信」を支援。
災害対策室オペレーションシステム をご提案します。



いつもは

マイクシステムを用いた会議室として活用。

もしもの際は

映像や情報をモニター表示。
災害対策本部から要請や指示を発信できます。



フルデジタル会議システム

音響から映像・無線までを融合した会議設備を製造販売する、当社ならではの提案です。

『外国人や難聴者にも情報を』という想定で、ユニバーサルデザインのサイネージで情報を視覚化。
避難誘導支援システム をご提案します。



いつもは

大型ディスプレイに施設案内やお知らせを表示。

もしもの際は

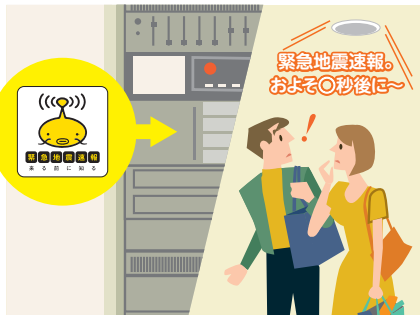
非常放送と連動し避難誘導の情報を多言語で表示。
音だけでなく映像で発災情報を確認できます。



避難誘導支援システム

サイネージ画面は、一般社団法人デジタルサイネージコンソーシアムのガイドラインに準拠しています。

『地震や津波から安全を確保』という想定で、緊急地震速報と放送設備を連動。
緊急地震速報対応 放送設備 をご提案します。



いつもは

業務放送装置として、
定時チャ임やアナウンス放送に活用。

もしもの際は

緊急地震速報装置の音声に自動的に切り替わり、
職員や来訪者へ安全確保を促します。



非常・業務用放送設備

火災による非常放送時の、緊急地震速報の放送割り込みについては法令により規定条件があります。

日本は海・山・川といった自然に恵まれた地形である一方、これまでに経験のない自然災害をもたらすことが増えてきました。
また近年では、COVID-19といった感染症も、ある種の災害と言えます。
こうした災害に対し、インフラや建物・土地といった社会基盤は、さまざまな法整備・法規制による「防災・減災」対策で、私たちの生活の安全を支えています。
当社は「いつも」と「もしも」の備えで社会の「防災・減災」をサポートする、音響・映像・無線製品をお客様へ提供します。

映像システム

防災・減災に向けた映像システムで、社会の安心・安全に寄与する映像セキュリティシステム、画像解析ソリューションを提供します。

『被災や避難の状況確認』という想定で、防犯カメラと顔認証をクラウドで活用。
クラウド型映像セキュリティサービス をご提案します。



いつもは

カメラ映像はクラウドに保存。安定したクラウド環境の活用で、
職員と来訪者の安全を管理。

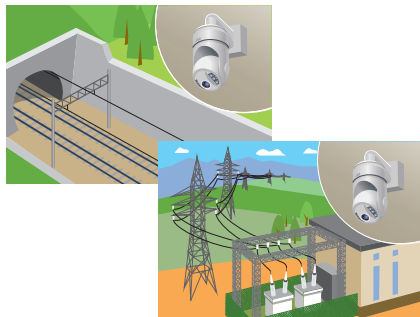
もしもの際は

建物から離れた場所でも、スマートフォンでカメラ映像を確認。
カメラの顔情報から、対象人物の映像検索も可能です。



映像および顔情報はセキュアなクラウド管理。情報セキュリティ対策としても優れています。

『自然災害による障害』という想定で、鉄道施設や電力施設、水道施設の映像を遠隔監視。
インフラ施設監視カメラシステム をご提案します。



いつもは

侵入者などの防犯対策としてカメラ映像を
高画質・長時間記録が可能。

もしもの際は

軌道や架線の障害、落雷の障害を、各種センサーと連動し、
素早くカメラ映像で捉え、初動対応が可能です。



屋外対応カメラ／統合監視ソフトウェア

各種センサーや電気錠との連携で、映像だけでなく施設全体の監視を実現します。

『地域の防災拠点』という想定で、公園や「道の駅」での車両入退場を見える化。
車両ナンバー認証システム をご提案します。



いつもは

入退場口のカメラ映像から車両のナンバーを認識。
時刻／台数／時間／地域などの利用情報管理に活用。

もしもの際は

満車や長時間滞留台数のアラートも可能。
災害時は入場を制限し、緊急支援車両をスムーズに誘導できます。



車両ナンバー認証システム

地域防災を担う「道の駅」は全国で約500駅。広域防災を担う「防災道の駅」制度が2020年から開始。

導入事例

防災センターオペレーションシステム

石巻市防災センター(石巻市総務部危機対策課)様
[宮城県石巻市]

石巻市の「新たな災害対策拠点」にオペレーションシステムを導入。迅速な災害情報の収集・共有、対策立案・決定・配信などをサポート。



防災オペレーションシステム

菊陽町防災センター様
[熊本県菊陽町]

地域を守る、新たな災害対策拠点にオペレーションシステムを導入。迅速な災害情報の収集・共有、対策立案・支援・配信などをサポート。



避難誘導支援システム

横浜市役所様
[神奈川県横浜市]

災害に強い市役所を、その基本方針を支える放送設備と避難誘導支援システムを導入。災害時は聴覚だけではなく視覚でも情報を伝えるマルチサイン設備と連動。



導入事例

防犯カメラシステム

豊島区立としみどりの防災公園様
[東京都豊島区]

豊島区内最大規模の公園は平時と非常時を使い分けるフェーズフリー施設。公園の安心・安全を支える放送設備と防犯カメラ設備を導入。



統合監視システム

有楽町センタービル管理株式会社(有楽町マリオン)様
[東京都千代田区]

広大な施設を見守るフルHD高画質カメラでの統合監視システムを導入。簡単運用、高画質化と長時間記録に対応。



車両ナンバー認証システム

道の駅 ながおか花火館様
[新潟県長岡市]

駐車場利用車両を可視化し、施設の「安全管理」をサポート。データを活用し、利便性やサービス向上を推進。

